



災害を観る

VISUALIZING DISASTER
RISK REDUCTION
2020 TOYAMA, JAPAN

2021年1月、富山では35年ぶりとなる100cmを超える大雪災害が発生しました。今年度の「災害を観る」シンポジウムでは、この大雪災害を「予測力」「予防力」「対応力」の3つの観点から振り返ります。なぜ大雪になったのか、今後も続くのか、生活基盤としての交通にどう向き合うか、様々な対応を支える地域の防災力はどうであったか。富山県民にとって「災害にどう立ち向かうか」について、専門家や実務者から学びます。

主催：富山大学 都市デザイン学部

共催：NHK富山放送局（調整中）、JST-CREST「CyborgCrowd：柔軟でスケーラブルな人と機械の知力集約（代表：森嶋厚行）」、

環境省推進費「2-1904：気候変動影響評価のための日本域の異常天候ストーリーラインの構築（代表：高数縁）」、

災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第2次） 防災リテラシー部会、他

令和2年度シンポジウム

地球を観る、 災害を観る

2021.3.29(月) 午後

YouTube配信：<https://youtu.be/tcanFZ4T4D0>



YouTubeリンク

3.29 (月)

「～令和2年の災害を観る～」

13:00	開会の挨拶および趣旨説明 渡邊 了（富山大学 都市デザイン学部 学部長）
第1部	「予測力」を観る ～大雪の特徴はどうであったか～
13:05	話題提供1-1「令和3年1月7日から11日にかけての大雪について」 大江 幸治（富山地方気象台 気象情報官） 話題提供1-2「気象学的に観た令和3年1月豪雪の特徴」 濱田 篤（富山大学 都市デザイン学部 地球システム科学科 教授）
第2部	「予防力」を観る ～交通対策はどうであったか～
13:45	話題提供2-1「1月の大雪における東海北陸道の車両滞留発生の検証と今後の対応策について」 岩井 清彦（中日本高速道路株式会社 金沢支社 富山高速道路事務所 副所長） 話題提供2-2「大雪災害における交通対策を考える」 猪井 博登（富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科 准教授）
第3部	「対応力」を観る ～地域の対応はどうであったか～
14:15	話題提供3-1「地域から見た大雪災害の実際」 飯原 打越（氷見市 老谷地区 自治振興委員） 話題提供3-2「大雪災害の先読み対応とは」 井ノ口 宗成（富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科 准教授）

パネルディスカッション

15:00	「次の大雪災害を乗り越えるために」 モデレータ：安永 数明（富山大学 都市デザイン学部 地球システム科学科 准教授） パネラー：大江 幸治、岩井 清彦、飯原 打越、猪井 博登、濱田 篤、井ノ口 宗成
15:55	閉会の挨拶 井ノ口 宗成（富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科 准教授）